

コストで選ぶ

カブドットコム証券の

信用取引



2014年04月01日 版

Copyright© 2001-2013 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.



カブドットコム証券

わたしたちはMUFGです。 

Quality for You
確かなクオリティを、明日へ、世界へ。



現物取引と信用取引の手数料比較

Copyright© 2001-2013 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

お取引の金額によっては信用取引は現物取引と比べて手数料が割安です。
 そんなカブドットコム証券の信用取引におけるコスト面でのメリットをご案内します。
 ご自身の資産運用スタイルに合わせて、上手にコストを意識したお取引を実践してください。

●信用取引の方が手数料は割安な場合も！

＜例＞A銘柄を2,000円で1,000株買う場合(約定代金200万円)の手数料

現物取引	信用取引
1,890円	0円～940円

※手数料はすべて消費税込み

約定代金にもよりますが、上記のように手数料は現物取引よりも信用取引の方がおおむね割安です。

●手数料比較例

●ピンク色の背景がお安いケースです。

ほぼ全価格帯において信用取引の方が手数料は割安です。

現物取引	インターネット	信用取引(通常手数料)			
		前営業日の建玉残高 または 前営業日の新規建て約定代金			
	約定代金	0円以上 3000万円未満	3000万円以上 5000万円未満	5000万円以上 6000万円未満	6000万円以上
99円	1万円	99円	94円	69円	0円
190円	10万円	99円	94円	69円	
270円	20万円	179円	170円	125円	
540円	50万円	449円	426円	314円	
990円	100万円	760円	722円	532円	
1,890円	200万円	940円	893円	658円	
3,690円	500万円	1100円	1045円	770円	
3,690円	1000万円	1200円	1140円	840円	
約定代金にかかわらず		前1ヶ月の建玉残高または新規建約定代金合計			
		プラチナプラン 30億円以上		ゴールドプラン4億円以上	
		0円		0円	

信用取引の金利

Copyright© 2001-2013 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

信用取引には手数料以外にも金利等のコストがかかります。ですから手数料だけでなく、その他のコストも含めて検討すべきですが、**それを含めたコストでも現物取引より信用取引の方が割安になる**ケースが多々あります。

●信用取引の金利も考慮したコスト比較

※手数料には別途消費税がかかります。

＜例＞A銘柄を200万円買って売った場合のコスト比較(手数料と金利)

コスト差額 = 現物手数料 - (信用手数料 + 金利)

例	現物取引	信用取引		コスト差額 (現物 - 信用)
手数料	3,780円	1,880円		
金利	なし	制度信用	2.98%	
建玉日数	なし	1日	163円	1,737円
		2日	326円	1,574円
		5日	816円	1,084円
		10日	1,632円	268円
		11日	1,796円	104円
		12日	1,959円	-59円
		13日	2,122円	-128円

【ご注意】

- ◎信用取引の金利は、受渡ベースでの両端入れです(建て日、返済日を含む)。
- ◎日計りの場合は1日分の信用取引金利が必要です。
- ◎信用取引金利は、決済時に精算されます。
- ◎信用取引金利は、金利情勢等により変更される事があります。

◆買い売り往復分の手数料と日数分の金利を合わせて比較しても、11日までは、信用取引の方がコストが低いことが分かります。つまり、株価動向に関わらず長期保有するつもりでなければ、11日までは**信用取引の方がコスト面では有利**ということです。

◆万一、信用取引で売り返済しない/できない場合は、**「品受け(現引き)」をして現物株とし、金利をそれ以上発生させない**ことも可能です。

＜例＞建玉5日で品受けした場合。

品受け代金 → 約定代金200万円 + 手数料940円 + 金利816円 = 2,001,756円

品受け代金2,001,756円

＜現物買付代金(約定代金200万円 + 手数料1,890円 = 2,001,890円) となります。この例では5日までなら**信用で買付、その後品受けしても現物取引より割安**です。

※名義書換料等その他の費用は考慮していません。上記はおよその目安です。

信用取引で買って品受け

Copyright© 2001-2013 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

信用取引で買うということは、証券会社にお金を借りて買うことであり、借りたお金を返せば現物取引で買ったのと同じ状態になります。これを品受け(現引き)と言いますが、信用取引で買ってすぐに品受けすれば、現物取引よりコストを抑えることができます。

●信用取引で買ってすぐに品受け

＜例＞A銘柄を200万円買ってすぐ品受けした場合のコスト比較(手数料と金利)
 コスト差額 = 現物手数料 - (信用手数料 + 金利)

	現物取引	信用取引		コスト差額 (現物 - 信用)
手数料	1,890円	940円		
金利	なし	制度信用	2.98%	
建玉日数	なし	1日	163円	787円

◆信用取引で買って、その日の内に品受け(現引き)すると、1日分の金利(163円)がかかるものの、手数料の差(1,890円 - 940円 = 950円)があるので、コスト差額は787円となり、信用取引で買付、その後すぐに品受けした方が割安となります。

$$\text{現物手数料}1,890\text{円} - (\text{信用手数料}940\text{円} + \text{金利}163\text{円}) = 787\text{円}$$

◆その後、現物取引で売却したとすると、

$$\text{現物取引} \rightarrow \text{現物手数料}1,890\text{円} \times 2 = 3,780\text{円}$$

$$\text{信用/品受/現物} \rightarrow \text{信用手数料}940\text{円} + \text{金利}163\text{円} + \text{現物手数料}1,890\text{円} = 2,993\text{円}$$

となり、上記のコスト差額787円分だけ、信用取引を活用した方が割安となります。

このように、信用取引を上手に活用すると、現物取引よりコストを抑えることが可能です。

レバレッジをかけない信用取引

Copyright© 2001-2013 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

信用取引には最大3倍のレバレッジがあり、それが現物取引よりもリスクが高い主因ですが、これもやり方次第で抑えることが可能です。リスクの高さを理由に信用取引のコスト面のメリットを活用されていない方は参考にしてください。

●保証金の余裕度合い次第で信用取引の意味合いも異なる

◆A銘柄を信用取引で100万円で買う場合、委託保証金率30%ですので、 $100万円 \times 30\% = 300,000円$ の保証金が必要となります。

これは、300,000円の保証金で100万円の建玉をした場合、約3.3倍のレバレッジを効かせたという事になります。最低保証金維持率は25%ですので、建玉が5%下がると追証(追加保証金)が必要となります。100万円の5%マイナスですから95万円未満で追証です(諸費用考慮せず)。

しかし、これはレバレッジ最大3倍を活用した場合で、保証金維持率30%で取引を行った場合です。

信用取引は、保証金を十分に用意し、レバレッジを効かせずに活用することもできるのです。

例えば、上記例で保証金を100万円用意すれば、保証金維持率は100%です。

つまり、レバレッジ1倍、レバレッジをかけていない状態です。

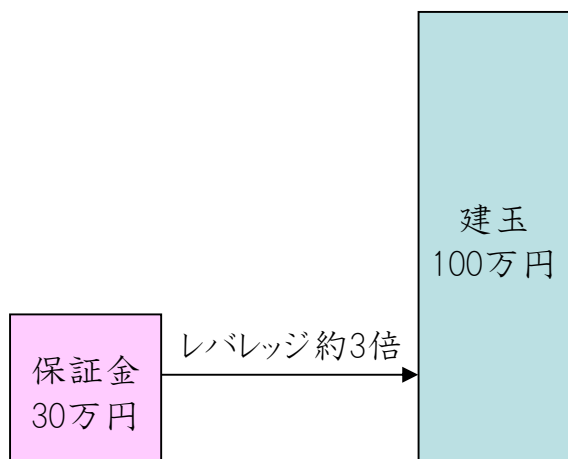
諸経費等抜きで計算すると、A銘柄が250,000円まで下がれば追証です。

$(保証金100万円 - 評価損750,000円) \div 建玉100万円 = 25\%$

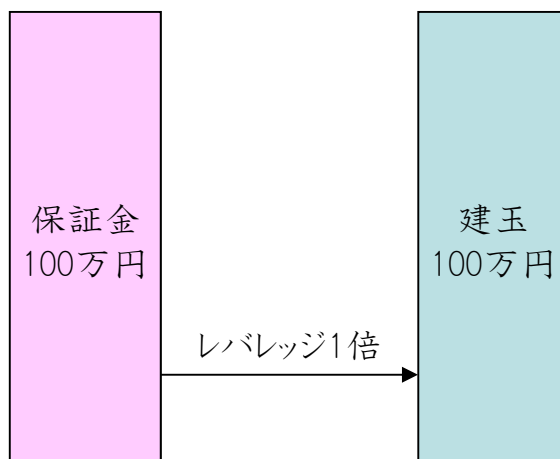
ですが、保証金100万円があるわけですから、追証となる前に品受けすれば追証を差し入れる必要はありません。

このように、建玉以上の保証金をもって信用取引を行えば、信用取引のレバレッジというリスク(と利便性)を負わず、コスト面のメリットを活用することもできます。

<通常の信用取引>



<レバレッジをかけない信用取引>



ルールを理解しリスク管理と無理のない取引を

Copyright© 2001-2013 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

このようにコスト面で有利な信用取引ですが、当然のことながらその内容やルールをよく理解し、リスク管理に充分気をつけて無理のない取引をすることが大切です。イメージだけで敬遠するより、しっかりと理解してメリットを活用することをご検討ください。

●内容やルールを理解する

信用取引は、保証金や取引期限といった通常の現物株取引にはない内容やルールがあります。例えば、「追証」は損失の大きくなってきた投資家に「保証金を追加してください」というものですが、これは投資家に無理のない取引を心掛けていただき、投資方針の見直しを検討していただく機会にもなる、投資家を守るためのルールでもあります。徐々にでもそういったルールの目的や意味合いまでご理解いただければ、金融商品を自分に合わせて適切に使いこなせる強い投資家へのステップアップに繋がるはずです。まずはお取引ルール等をご理解ください。

●リスク管理に充分気をつける

仮に保証金を充分用意しレバレッジをかけない信用取引を行ったとしても、株式投資であることに変わりはありませんし、信用取引独自のルールもあります。ですから、「思惑に反して失敗したときどうするか?」「損切り(ロスカット)はどれくらいですか?」「投資対象が偏った建玉になっていないか?」などのリスク管理は重要です。どのような資産運用においても絶対と言うことはありませんから、常に万一を考えておきましょう。カブドットコム証券では逆指値等の自動売買や自動通知サービスを活用したリスク管理も可能ですので、ぜひご活用ください。

●無理のない取引をする

資産運用はリスクを負ってリターンを狙うものであり、その結果は約束されるものではありません。しかし、投資家はリターンを得ることばかりに目が向きがちで、得てして無理な取引にまで及んでしまうことがあります。必要以上に投資をしてしまう、バランスやリスク分散を考慮せず集中投資をしてしまう、売買自体が目的となって過度に頻繁な取引を行ってしまう、そういった無理な取引は、その投資家に合った資産運用の範囲を逸脱し、過剰なリスクを負い、大きな失敗に結びつく可能性があります。常に無理のない取引を行い、冷静に判断できるようにしましょう。

信用取引のメリットを活用するために、
正しい理解と適切なリスク管理で無理のない取引を

信用取引手数料

Copyright© 2001-2013 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

カブドットコム証券の信用取引手数料は、「建玉残高」または「新規建て約定代金合計」に応じて、大口ほど手数料が安くなる体系です。もちろん、少額でもリーズナブルな手数料ですので、幅広いお客さまにご好評いただいております。

●信用取引手数料

<手数料・金利を優遇するふたつのプラン>

前1ヶ月の建玉残高または新規建約定代金合計	
プラチナプラン 30億円以上	ゴールドプラン4億円以上
0円 買方金利0.92%優遇	0円 買方金利0.3%優遇

<通常手数料>		前営業日の建玉残高または前営業日の新規建て約定代金			
		0円以上 3,000万円未満	3,000万円以上 5,000万円未満	5,000万円以上 6,000万円未満	6,000万円以上
約 定 代 金	50万円以下	449円	426円	314円	0円
	100万円以下	760円	722円	532円	
	200万円以下	940円	893円	658円	
	500万円以下	1,100円	1,045円	770円	
	500万円超～100億円	1,200円	1,140円	840円	

※上記手数料に別途消費税が加算されます。

※前営業日の建玉残高とは前営業日に返済されていない建玉総額、前営業日の新規建て約定代金とは前営業日の新規建て約定金額（売建・買建、内出来を含む）の合計です。

※前営業日の建玉残高と前営業日の新規建て約定代金の高い方を適用します。

※当日6:00以降に発注いただいたご注文から自動的に手数料割引率が適用されます。

※信用取引は、割引プラン「ファンドDE割引™」の対象です。

※消費税とは別にお取引により生じた利益には2013年1月1日から2037年12月31日までの間、復興特別所得税（2.1%）が課せられます。復興特別所得税は、上場株式・公募投資信託の配当と売買益、債券の利子、デリバティブ取引の利益を対象とする付加税です。

※取引チャネル、執行条件にかかわらず上記手数料が適用されます。

※強制返済時の手数料には、手数料割引率が適用されません。

※ゴールドプラン・プラチナプランの基準は以下

- ・ゴールドプラン 前1ヶ月の建玉残高または新規建約定代金合計5億円以上の場合
- ・プラチナプラン 前1ヶ月の建玉残高または新規建約定代金合計30億円以上の場合

【ご注意】（※1）ゴールドプラン・プラチナプランは、約定日ベースで毎月の21日を起算日とし翌月の20日までの実績を計測いたします。優遇金利の適用は、起算日の翌々月の1日より月末までとなります。

※信用取引は、取引手数料、金利・貸株料の他に、名義書換料、事務管理費、逆日歩等の諸経費が発生する場合があります。詳しくは当社ホームページ等でご確認ください。

現物取引手数料

Copyright© 2001-2013 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

約定代金×0.09%+90円 「上限3,690円」

<現物取引約定代金別手数料例>

約定代金	インターネット	電話	
		自動音声応答	オペレーター
5万円	135円	235円	2,135円
15万円	225円	325円	2,225円
25万円	315円	415円	2,315円
55万円	585円	685円	2,585円
100万円	990円	1,090円	2,990円
200万円	1,890円	1,990円	3,890円
400万円	3,690円	3,790円	5,690円
5,000万円	3,690円	3,790円	5,690円

※上記手数料に消費税が別途加算されます。

※成行、指値、自動売買等の執行条件にかかわらず上記手数料が適用されます。

※計算(手数料計算および消費税計算)により小数点以下が発生する場合には切り捨てます。

※複数日にわたる内出来も一注文として計算されます。

※自動音声応答では自動売買はできませんので、あらかじめご了承ください。

※新株予約権の売買手数料は上記現物株式手数料と同じです。

※電話でのお取引は、自動音声応答の場合100円、オペレーターの場合2,000円が別途加算されます。



各割引プランの詳細は「[割引プランのご案内](#)」をご覧ください。

関連リンク

Copyright© 2001-2013 kabu.com Securities Co., Ltd. All rights reserved.

信用取引のコスト面でのメリットはご理解いただけましたでしょうか？

詳細・最新情報は下記リンク先ページをご参照ください。

信用取引が、末永く皆さまの資産運用のお役に立てることを心から願っております。

- ・ [信用取引の説明ページ](#)
- ・ [信用取引お取引ルール](#)
- ・ [信用取引手数料](#)
- ・ [信用取引お取引時間](#)
- ・ [信用取引Q&A](#)
- ・ [お取扱商品の重要事項の説明](#)
- ・ [信用取引の動画セミナー](#)
- ・ [信用取引解説資料\(PDF\)](#)
- ・ [WEB審査手順](#)
- ・ [信用取引とは](#)
- ・ [一般信用取引とは](#)
- ・ [信用取引の取引手法とは](#)
- ・ [一般\(長期\)信用売建可能銘柄](#)
- ・ [便利な機能](#)
- ・ [保証金シミュレーター](#)
- ・ [お客さま投資成績](#)

[信用取引の口座開設はこちら【無料】](#)

- 当資料は、資産運用の参考となる情報提供や、当社サービスや商品のご紹介/勧誘を目的としています。
- お取引の際は、約款・規定集(<http://kabu.com/service/clauses.asp>)、契約締結前交付書面、投資信託説明書(交付目論見書)、お取扱商品の重要事項の説明(<http://kabu.com/company/policy/inducement.asp>)等を良くお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール(<http://kabu.com/service/rule.asp>)等を良くご理解の上、銘柄選択、投資時期、投資スタイル等、投資の最終決定はご自身のご判断とご責任で行ってください。
- 証券投資は、価格の変動、金利の変動、為替の変動等により投資元本を割り込む恐れがあります。自動売買を含むすべてのご注文は、必ず約定するものではありません。各商品等へのご投資には、各商品毎に所定の手数料等が必要です。詳しくは当社の手数料ご案内ページ(<http://kabu.com/cost/>)等をご参照ください。
- 信用取引は、保証金以上のお取引が可能であるため、保証金を超える大きな損失を被ることがあります。また、取引期限があり取引期限を越えてのお取引はできません。お取引に際しては、信用取引の契約締結前交付書面を良くお読みいただき、商品特性やお取引ルール等を良くご理解の上、ご自身のご判断で無理のない資産運用を行ってください。
- 掲載情報は2014年4月1日現在のものです。詳細および最新情報は当社ホームページ(<http://kabu.com/>)にてご確認ください。

商号:カブドットコム証券株式会社

金融商品取引業登録番号:関東財務局長(金商)第61号

銀行代理業許可番号:関東財務局長(銀代)第8号

加入協会:日本証券業協会、金融先物取引業協会



カブドットコム証券

わたしたちはMUFGです。

